



# Plan Do Check Action

## 「三位一体」

朝日町立朝日中学校 校長 梅澤 健一

令和4年度より、朝日町保小中一貫教育が、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的推進として歩み始めました。教育目標や目指す子供像、カリキュラム等を作成し、朝日町らしい特色ある保育・教育を目指し、準備を進めてきました。そして、これを継続する形で保小中一貫教育や地域学校協働活動が始まり、オール朝日町で子供を育ていこうという流れができていると感じています。

保育園や学校の方向性が決まり、4月よりスタートしていますが、何よりも家庭との連携なくして進めることはできません。では、今後どのように家庭と歩みをそろえていけばよいのでしょうか。

子供の成長を「三輪車」に例えてみます。小さい子が初めて自分の乗り物として買い与えられる物は、「三輪車」ではないかと思えます。三輪車は小さい子が、自分の足でペダルを踏み、自分の思ったように走って行きます。右や左にハンドルを切ったり、前進だけでなく後進したりします。子供は自分の意思で動くということを経験し、やがて「自立」へと繋がります。「三輪車」でいうと前輪が子供、後輪の2つが「家庭と保育園・学校」です。後輪が前輪を安定させる役目であることは想像できると思えますが、それは後押しをする役目でもあると考えます。この後押しをする両輪のバランスが悪ければ、実はずまく前に進まないのです。片方だけ強く回ると、前に進みますがくるくる回って、戻ってきます。「家庭と保育園・学校」がお子さんの成長に向けて、お互いに歩み寄り、一緒に子育てについて考えていくことが大切ですし、子供が幼ければ幼いほど、保護者・家族の理解と協力や支援は大きな力となります。

さて、オートバイの中にも前輪が2輪のリバーストライクという「三輪車」の乗り物があります。前輪が2輪のため、1輪よりも安定していると言われていています。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は、まさにこのリバーストライクだと思います。

コミュニティ・スクールは「学校と学校運営協議会」がタッグを組み、よりよい学校運営を行っていきます。地域の有識者やPTAの代表等とともに、よりよい学校づくりを目指します。これまでも学校はPTAによって支えられてきました。働き方改革についてもご尽力をいただき、新しい時代に合った学校運営にも踏み切ることができました。また、地域学校協働本部は、このコミュニティ・スクールを後押ししてくれます。地域学校協働活動推進員の方が、学校行事と地域を繋ぎ、児童生徒の活動がよりよくなるようコーディネートしていただいています。これによって、教職員の負担軽減も図っていただき、まさに地域と一体となった教育が推進されていると実感しているところです。

朝日町という教育資源が、子供の成長を大きく支えています。やがて自立し大きく羽ばたいていった時、「ふるさと朝日」がいつまでも大切なバックグラウンドになることを願っています。



## 「朝日町に赴任して」

## あさひ野小学校 沼田 峻

私が泊高校を卒業してから10年。まさか、教員となり、朝日町に戻ってくると思ってもありませんでした。部活動で、三峯グリーンランドまで自然豊かな中を走っていたことを鮮明に思い出します。

あさひ野小学校は、四季を身近に感じながら、学習することができる素敵な環境です。生活科とふるさと科を連携した学習では、子供の願いを基に、地域にある店で自分が選んだ苗の買い、地域の方に教わって植える体験をしました。身近な人々や自然と触れ合うことができる環境は、子供たちの見方・考え方を広げるための最適な学びの場だと感じています。

これからも、子供一人一人に寄り添いながら、共に学び、活動しながら、互いに高め合っていきたいです。



## 「教員としての今後の目標」

## さみさと小学校

## 廣清香緒里

初任として教員になり、もうすぐ2か月が過ぎようとしています。毎日授業や学級事務などやるべきことが多く大変ですが、子供たちの笑顔に励まされたり、先輩の先生方から多くのことを学んだりして、充実した日々を送っています。

私の教員としての目標は二つあります。一つ目は、子供たちが安心して過ごすことができる学級づくりをすることです。共感的理解を示しながら一人一人の話をしっかり聞き、信頼関係を構築するように努めています。



二つ目は、子供たちにとって分かりやすく楽しい授業を行うことです。子供たちが興味や関心、あるいは必要感をもって取り組めるような授業を行えるようになるため、教材研究や学習課題、発問、声かけ等の指導技術を学んでいきたいです。

## 「教員になって」

## さみさと小学校

## 鍋島三彩子

四月に新規採用教員としてさみさと小学校に着任してもう2か月が経ちました。元気いっぱい明るい子供たちと優しくて頼りになる先輩方に支えられ、充実した日々を過ごしています。

私は子供と関わる仕事がしたいと思い、教員を志しました。今、私は2年2組の担任として子供たちと過ごしています。実際に教員になってみ



て、日々の授業や生徒指導等まだまだ分からないことだらけですが、日々奮闘しています。しかし、子どもたちが「鍋島先生！」と元気に声をかけてくれることや、授業で子供たちの「分かった！」という瞬間に立ち会えることに、教員になってよかったと感じています。

教員として、子供たち一人一人の個性を大切にし、その子のよさを伸ばしていけるよう頑張っていきたいです。

### 「新たな気持ちで」

朝日中学校

大瀧まみは

「南に雄俊なる朝日・白馬の山々、北に母なる有磯海」毎朝、自転車で気持ちのよい風を感じながら通勤していると、朝日町の自然の雄大さを感じます。

昨年度までは、埼玉県で教員をしていました。環境の変化に戸惑いを感じることもありますが、富山で暮らす人々の温かさに支えられながら、充実した毎日を過ごしています。



朝日中学校に赴任し早2か月。授業や日々の生活の中で生徒と接していると、場所は変わっても、子供を教え育むことのやりがいや楽しさは変わらないと実感しています。

新しい環境で新しい生活が始まりました。今までの経験を生かしながら、新たな気持ちで、この朝日町の未来を創る一助となれるよう勇往邁進していきます。

### 「母校で働く喜び」

朝日中学校

濱田 将平

朝日中学校に新規採用教員として着任して2か月が過ぎました。私自身、朝日町民であり、教員として母校の教壇に立つことを非常に嬉しく思っています。

朝日中学校には、「一生懸命はかっこいい」という合言葉があります。生徒は様々な活動で互いにに関わり合い、仲間との協力や対話を通して、日々学びを深めています。彼らの素直でひたむきに挑戦する姿から、学ぶことが多く、彼らが一生懸命取り組むことができるように、私も一つ一つの準備を丁寧に行うように心がけています。

私は小・中・高と朝日町で学び、自分の目標に向かって全力で過ごすことができました。朝日町に育てていただき、私自身が得た学びを朝日町の未来を担う生徒に少しでも還元できるよう、精進していきたいと思います。





# 令和4年度 朝日町の研修、調査・研究体制について

## 情報教育研究調査委員会・学力向上推進委員会

今年度は、「ICTを活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』の授業モデルの作成—教育DX—の推進」をテーマとして研究を進めます。委員を代表して3名の先生の授業を参考に、モデル集を作成する予定です。モデル集の中で、効果的なAIドリルやAL室の活用等について位置付け先生方の授業改善に生かしていくためのものとなる予定です。



## 郷土教育教材開発研究調査委員会

令和4年度スタートの「朝日町型保小中一貫教育」において新設された「ふるさと科」の年間指導計画の検証と現地学習会の企画・運営を行います。また、郷土学習資料「わたしたちの朝日町」の改訂を中心に調査・研究も進めます。



## 保小中一貫教育推進委員会

各校推進委員、1名ずつのコーディネーターとセンター職員が連携をとりながら、保小中一貫教育についての成果と課題を明らかにしていきます。今年度は、あさひ野小学校は保小について、さみさと小学校は小小について、朝日中は小中についてまとめていきます。成果と課題を明らかにし、対応策について協議し、次年度へつなげていきたいと考えています。



## 小中生徒指導研修会 5月27日

小学校教員が、中学校を訪ね、1年生の生徒がどのように学習や生活しているかを参観します。「中1ギャップ」や「生徒指導上気になること」等について小中学校の教員、SC、SSWと情報交換や情報共有したりします。

## 保小情報交換会 5月31日

保育園所長や保育士が、小学校を訪ね、1年生の児童がどのように学習や生活しているかを参観します。保育士と教員が「小1プロブレム」や「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」等について話し合い、児童の情報共通理解・情報共有をします。

## 主なセンターの事業（7月～9月）

## センター運営委員・調査員

■は、研修会です

月日	事業
6月25日(土) ～7月3日(日)	魚津地区理科自由研究・発明 くふう参考展（吉田科学館）
7月25日(月)	■カウンセリング講座（入善） 講師 富山大学 特任教授 宝田 幸嗣 先生
7月 27日(水)	現地学習会
7月 28日(木)	現地学習会 AM
8月 2日(火)	■生徒指導に関する講演会 講師 生徒指導コンサルタント 吉田 順 先生
8月 4日(木)	■道徳教育に関する講演会 講師 東京学芸大学教職大学院 特任教授 永田 茂雄 先生
8月 9日(火)	■外国語教育研修会（黒部） 講師 富山大学教職大学院 教授 岡崎 浩幸 先生
8月23日(火)	■特別支援教育研究会（魚津） 講師 東部教育事務所 梅村 佳絵 先生
8月24日(水)	■学級経営に関する講演会 講師 早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之 先生
9月16日(金) ～9月20日(火)	朝日町小中学校児童生徒作品展 （朝日町図書館）

### ☆ 朝日町教育センター運営委員

校長会	代表	四杉 昭康
小教研	代表	竹内 静
中学校	代表	梅澤 健一
教頭会	代表	大森 祐子
教務主任会	代表	宮島 誠

### ☆ 情報教育研究調査員

さみさと小学校	上田 勝（委員長）
あさひ野小学校	清水 颯太
さみさと小学校	松井和貴子
さみさと小学校	高澤 伸治
朝日中学校	岩崎 将展
朝日中学校	岩田 寿浩

### ☆ 学力向上推進委員

朝日中学校	川田 彰（委員長）
あさひ野小学校	高澤 朋美
あさひ野小学校	鹿熊 康平
あさひ野小学校	兵庫 秀典
さみさと小学校	河村 夏美
さみさと小学校	吉島 大貴
さみさと小学校	島 あやめ
朝日中学校	大瀧まみは
朝日中学校	山田 智徳
朝日中学校	岩田 寿浩

### ☆ 郷土教育教材開発研究調査委員会

あさひ野小学校	大森 祐子（委員長）
あさひ野小学校	上野 裕美
さみさと小学校	四月朔日安輝子
さみさと小学校	谷口 優稀
朝日中学校	新田 昌司

# 教育雑誌の紹介 ちょっと手に取って読んでみませんか？

1学期も半ばを過ぎ、学級も授業も落ちついて軌道に乗ってきたころではないでしょうか。毎日の学校生活の中には、楽しみもあり、やりがいもあり、悩みもあることと思います。忙しい毎日に流されてしまいそうになりますが、少しだけ時間を見つけて、本を読んでみませんか？そこに悩みを解決するヒントがあるかもしれません。朝日町教育センターでは、教育雑誌を定期購読しています。いつでも貸出可能です。ぜひご一読ください！

<p>月刊誌 「授業力&amp;学級経営力」 発行：明治図書</p>	<p>月刊誌 「教育」 発行：かもがわ出版</p>	<p>月刊誌 「道徳教育」 発行：明治図書</p>
		
<p>月刊誌 「生徒指導」 発行：学事出版株式会社</p>	<p>季刊誌 「総合教育技術」 発行：小学館</p>	<p>月刊誌 「特別支援教育研究」 発行：東洋館出版社</p>
		

## 編集後記

知り合いの先生（K先生）のフェイスブックを眺めていたときのことです。いつもは、ご自分の読破された書物の紹介ばかりなのですが、この4月から中学校へ勤務されることになり、そこでの体験談を載せられることが多くなってきました。それが興味深い内容であったのでご紹介したいと思います。

ワークやプリント、テスト等にコメントを自然に書いたことで、生徒がワークを再提出してくれた。学級担任でなくても、生徒とのリレーションは工夫次第でつくっていくものなんだなあという内容であった。

リレーションや勇気づけをさりげなくされていれるK先生の取組には、以前（担任）とは異なる視点でのやり方で力の入り具合がちょうどよい、いい加減であるなど感心しました。

発行：朝日町教育センター

〒939-0743

富山県下新川郡朝日町道下1053-1

TEL (0765) 83-0279

FAX (0765) 83-0279

E-mail asahi-ec@tym.ed.jp

Webサイト <http://www.asahi-c.tym.ed.jp/>